

第66回全日本総合女子ソフトボール選手権大会

(第70回国民体育大会ソフトボール競技リハーサル大会)

実施要項

- 1 主催 公益財団法人日本ソフトボール協会
- 2 共催 紀の川市、橋本市、紀の川市教育委員会、橋本市教育委員会、紀の国わかやま国体紀の川市実行委員会、紀の国わかやま国体橋本市実行委員会
- 3 後援 文部科学省、和歌山県、和歌山県教育委員会、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会、公益社団法人和歌山県体育協会、紀の川市体育協会、橋本市体育協会、朝日新聞社
- 4 主管 和歌山県ソフトボール協会、那賀地方支部ソフトボール協会、紀の川市ソフトボール連盟、橋本市ソフトボール協会
- 5 会期 平成26年9月13日(土)～9月15日(月) ※予備日9月16日(火)
- 6 会場 紀の川市粉河運動場(紀の川市) A・B球場
紀の川市貴志川スポーツ公園(紀の川市) C・D球場
橋本市南馬場緑地広場(橋本市) E・F球場
- 7 参加 32チーム
チーム数

前年度優勝	前年度準優勝	開催地(地元)	リーグ推薦	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	合計
1	1	1	10	1	2	4	2	2	3	2	1	2	32
前年度優勝	トヨタ自動車												
前年度準優勝	ルネサスエレクトロニクス高崎												
リーグ推薦	豊田自動織機			デンソー			日立						
	Honda			太陽誘電			SGホールディングスグループ						
	戸田中央総合病院			ペヤング			シオノギ製薬						
	伊予銀行												

- 8 参加資格 (1) 平成26年度に公益財団法人日本ソフトボール協会に各支部を通して加盟登録したチーム(実業団、クラブ、大学)に限る。
(2) 所属長が身体、人物ともに適当と認めた者。
- 9 出場資格 (1) 本大会に出場するチーム及び選手は、所定の予選会又は推薦を経て出場権を得たチーム及び選手に限る。
(2) 選手の編成は、最終予選終了時までに公益財団法人日本ソフトボール協会に登録した者の中から編成すること。なお、本大会参加申込み以後のメンバー変更は認めない。
(3) チームの編成は、次のとおりとする。
監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、選手25名以内
ただし、監督、コーチ、スコアラーが選手を兼ねる場合は、選手登録をしなければならない。
※トレーナー1名(トレーナー業務を行う者に限る。)、通訳1名(外国人選手がいる場合に限る。)のベンチ入りを認める。
※スコアラーとしてベンチ入りする場合は、公式記録員の有資格者であること。
※大学チームに限り部長のベンチ入りを認める。
※監督・コーチの中で次の①～③のいずれかの資格を有する者がいること。
監督・コーチが資格を有していない場合においては、チーム内に有資格者(監督代行になり得る者)がいなければならない。
① 公認ソフトボールコーチ・上級コーチ
② 公認ソフトボール指導員・上級指導員
③ 公認準指導員
- 10 申込方法 出場資格を得たチームは、別紙関係用紙に必要事項を明記の上、各関係の認印を受け平成26年8月4日(月)までに到着するよう、参加料振込明細書の写しを添えて、下記宛に申し込むこと。
(1) 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館内
公益財団法人日本ソフトボール協会 宛
[大会申込書(A3判)のみ1通(コピー可)]
(2) 〒649-6492 和歌山県紀の川市西大井338
紀の川市国体対策局国体対策課内
紀の国わかやま国体紀の川市実行委員会 宛
[大会申込書(A3判、A4判両方)、チームの横顔
参加料の振込明細書の写し]
TEL 0736-77-0894 FAX 0736-77-3187

- 11 参加料 1チーム 60,000円
振込先 銀行名 南都銀行 林間駅前支店
口座番号 普通 0200519
口座名義 和歌山県ソフトボール協会
会計 丸山 敏文 (まるやまとしふみ)
- 12 宿泊及び 宿泊及び昼食弁当を希望の者は、同封した「宿泊のご案内」「弁当のしおり」
昼食弁当 を参照のこと。
- 13 競技規則 2014年度オフィシャルソフトボールルールによる。
- 14 試合球 公益財団法人日本ソフトボール協会検定革製3号球(内外ゴム社製)とし、主催
者が用意する。
- 15 試合方法 (1) トーナメント方式による。
(2) 3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差がついた場合は、コールド
ゲームとする。
(3) サスペンデッドゲームを採用する。
- 16 表彰 (1) 優勝チームに、表彰状、優勝旗、優勝杯、優勝メダルを授与する。
(2) 準優勝チームに、表彰状、準優勝杯、準優勝メダルを授与する。
(3) 第三位チームに、表彰状、三位メダルを授与する。
(4) 優勝旗、優勝杯、準優勝杯は持ち回りとする。
- 17 費用 出場選手の旅費、滞在費はすべて出場チームの負担とする。
- 18 組合せ 試合の組合せは、平成26年8月12日(火)午後1時から「紀の川市役所南別
抽 選 館3階 大会議室」において、主催者立会いのもとに公開代理抽選によって決定
する。
- 19 監督会議 (1) 平成26年9月12日(金)午後1時から「紀の川市粉河ふるさとセンタ
ー」において開催する。
(2) 監督はユニフォームを着用の上、必ず出席すること。
- 20 審判・記録 平成26年9月12日(金)午後2時から「紀の川市粉河ふるさとセンター」に
会 議 おいて開催する。

- 21 開会式 (1) 平成26年9月12日(金)午後4時から「紀の川市粉河運動場」において開催する。なお、雨天の場合は室内(紀の川市粉河ふるさとセンター)において開催する。
(2) 開会式は、チーム旗又は都道府県ソフトボール協会旗を必ず持参すること。
- 22 閉会式 決勝戦終了後、「紀の川市粉河運動場」において開催する。
- 23 傷害 (1) 大会参加者の行事参加中の傷害事故については、応急の処置を行うとともに公益財団法人日本ソフトボール協会が加入する行事参加者傷害保険(死亡・後遺障害500万円、入院日額3,500円)の範囲内で補償を行う。
(2) 参加者は全員健康保険証を持参すること。
- 24 ドーピング検査 公益財団法人日本ソフトボール協会アンチ・ドーピング規定に基づき、ドーピング検査を実施する。(この検査は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施いたします。)
- 25 その他 (1) 出場チームは必ず監督等によって引率され、監督は選手の全ての行動に対し責任を負うものとする。
(2) 開会式は監督、コーチ、プレイヤー全員が参加すること。ただし、雨天等により室内(紀の川市粉河ふるさとセンター)で開催される場合については、監督、コーチ、プレイヤーを含む1チーム16名までの参加とする。また、9名以上(試合が成立する人数)の参加ができないチームは原則として棄権とみなす。
(3) 全日本大会で棄権したチームの取扱いについては次のとおりとする。
①棄権チームに対する処置
当該年度及び次年度の公式試合の出場停止
②棄権チームの所属する支部に対する処置
次年度の同大会出場資格の喪失
※組合せ抽選終了後の出場辞退(チームの変更も含む。)も大会期間中の棄権とみなし、上記と同様の処置とする。
なお、事故等による理由により棄権する場合は、上記規定は適用しない。また、この決定については、公益財団法人日本ソフトボール協会派遣理事及び大会競技委員長で行う。
(4) 雷鳴がかすかでも聞こえたら、ただちに試合を中断する。
(5) 雨天等で準々決勝以降の試合が行えず、勝ち残ったチームが8チーム以下の場合には当該チームの抽選により次年度大会への推薦出場の順位を決定する。
(6) ベンチに入る人数は、本大会登録人数とする。
(7) その他詳細については、参加チームに直接連絡するとともに、監督会議で定める。
(8) 大会参加申込書は、そのまま印刷するので、明確に記入すること。

大会に関する問い合わせ先（大会事務局）

〔開催地〕 〒649-6492 和歌山県紀の川市西大井 3 3 8
紀の川市国体対策局国体対策課内
紀の国わかやま国体紀の川市実行委員会事務局
TEL 0736-77-0894 FAX 0736-77-3187

〒648-8585 和歌山県橋本市東家一丁目 1 番 1 号
橋本市企画部国体推進室内
紀の国わかやま国体橋本市実行委員会事務局
TEL 0736-33-1124 FAX 0736-33-1665

〔主管協会〕 〒648-0003 和歌山県橋本市隅田町山内 4 5
和歌山県ソフトボール協会
事務局長 丸山 敏文
TEL 0736-36-4608 FAX 0736-36-4608
携 帯 090-8989-5356